

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

< 様式 1 >

評価対象事業名	水産生産基盤整備事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	2	力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す
	施策	3	環境変化に対応し、一次産業を活性化する
	事業群	(2)	漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備 生産・流通基盤の強化と漁村の賑わい創出に向けた浜の環境整備

作成年月日	令和 2 年 11 月 25 日		
事業所管	水産部	漁港漁場課	2857
課(室)長名	橋本 康史		

1. 事業の概要

事業概要	<p>< 事業の主な実施内容 ></p> <p>漁場と漁港の一体的な整備、既に天然の漁場等が形成されており、当面漁場の整備の予定がない場合の漁港の整備及び当面整備の予定がない漁港等と利用上密接に関連する漁場の整備を行う。</p> <p>< 国の主な採択基準 ></p> <p>・計画事業費が一事業につき3億円(漁港施設の整備が含まれる場合は5億円)を超えるもの。 ・第1種漁港又は水産流通基盤整備事業を実施する漁港以外の第2種漁港、第3種漁港若しくは第4種漁港等。</p>																							
	<p>< 負担区分 (%) ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>県営離島(4種)・外郭</td> </tr> <tr> <td>66.6</td> <td>33.4</td> <td>0</td> <td>県営離島(4種)・係留</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>17.5</td> <td>32.5</td> <td>市営本土(2種)・係留</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>17.5</td> <td>32.5</td> <td>市営本土(2種)・輸送用地</td> </tr> </tbody> </table>		国	県	地元	条件	80	20	0	県営離島(4種)・外郭	66.6	33.4	0	県営離島(4種)・係留	50	17.5	32.5	市営本土(2種)・係留	50	17.5	32.5	市営本土(2種)・輸送用地	<p>< 県費の継ぎ足し ></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>	
	国	県	地元	条件																				
80	20	0	県営離島(4種)・外郭																					
66.6	33.4	0	県営離島(4種)・係留																					
50	17.5	32.5	市営本土(2種)・係留																					
50	17.5	32.5	市営本土(2種)・輸送用地																					

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<p>国内水産物の持続的な利用と安全な水産物供給体制の整備</p> <p>漁船の大型化に対応した整備</p> <p>水産業の振興を核とした漁村の総合的な振興</p> <p>資源管理型漁業・つくり育てる漁業への支援</p> <p>自然環境の保全と創造</p> <p>安全で快適な漁業地域の形成</p> <p>生産労働効率化・近代化、担い手支援</p>
---------	--

3. 令和3年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	京泊(南串山)漁港	雲仙市
2	大島(吉岐)漁港	吉岐市
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和3年度新規要求箇所評価調査(水産生産基盤整備事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
きょうどまり 京泊 みなみくしやま (南串山)漁港	雲仙市	市	R7	岸壁 183m 泊地 10,450㎡ 道路 10m 用地 4,400㎡	1,076,000	538,000	169,400	18,900	349,700	当漁港は、あくり網、刺網等の沿岸漁業や養殖業を主に営む京泊地区とサンマ棒受網や大目流し網等の沖合漁業を主に営む中ノ場地区がある。京泊地区はイワシ(圏域内の64%)やブリ(圏域内の86%)などを陸揚げする陸揚拠点、中ノ場地区は三陸や東シナ海でサンマやカジキなど漁獲する漁船の準備・休けい基地であり、当漁港は県央圏域における水産物生産の拠点として重要な役割を担っている。また、養殖ブリのブランド化や漁獲物の加工、新規漁業者の育成などにも取り組んでおり、水産業振興に意欲的な地域である。 しかし、当漁港には大型漁船の陸揚・準備・休けい機能を有する岸壁がなく、休けい時は唯一水深が確保できる防波堤に係船しているため、作業スペースが確保できず、気仙沼漁港等で漁船の艀装・修繕等を行うとともに、漁具の運搬等を人力で行うなど作業が非効率となっており、生産コスト縮減のため、対策が必要である。また、艀装等が当漁港で行えるようになることで、地元での船員・作業員の雇用の創出が見込まれる。	【要望書の提出状況】 ・時期:平成29年7月 ・提出元:橘湾東部漁協代表理事組合長 ・提出先:雲仙市長 ・要望内容:岸壁・用地整備 等	A
				測量及び試験費 1式	18,000	9,000	2,700	450	5,850			
あおしま いづ 大島(壱岐) 漁港	壱岐市	県	R7	沖防波堤(改良) 140m 外防波堤(改良) 190m 北防波堤(改良) 106m 浮体式係船岸 1基	950,000	748,000	181,800	20,200	0	当漁港は、壱岐島東部に位置する3つの二次離島(大島、長島、原島)で構成されており、はえ縄、採介漁が盛んであり、主にサザエ(壱岐圏域の約5割)やブリ(壱岐圏域の約2割)を陸揚げするとともに、港内外でひじき養殖を行うなど、水産物生産の拠点としての役割を担っている。また、当漁港は、第4種漁港に指定されており、荒天時における周辺漁場で操業する漁船の避難基地としての役割も担うとともに、各島と壱岐島を結ぶ定期航路を有し、島民の生活を維持する役割も担っている。 定期船の接岸場所を守る防波堤について、近年の海象条件における施設の安定性が基準を満たしていないことが判明したことから、大型台風来襲後、定期船欠航等による地域経済の停滞が発生しないよう事前に対策を講じる必要がある。 また、干満差が大きく、漁船へ漁具の積込・積降が重労働であることから、漁業者の就労環境の改善が必要である。	【要望書の提出状況】 ・時期:令和2年4月 ・提出元:壱岐市長 ・提出先:壱岐振興局長 ・要望内容:浮体式係船岸整備 等	A
				測量及び試験費 1式	45,000	34,000	9,900	1,100	0			
合計					2,026,000	1,286,000	351,200	39,100	349,700			
					63,000	43,000	12,600	1,550	5,850			

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

< 様式 1 >

評価対象事業名	農山漁村地域整備交付金(漁村再生交付金事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	2	力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す
	施策	3	環境変化に対応し、一次産業を活性化する
	事業群	(2)	漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備 生産・流通基盤の強化と漁村の賑わい創出に向けた浜の環境整備

作成年月日	令和 2 年 11 月 25 日		
事業所管	水産 部	漁港漁場 課	
課(室)長名	橋本 康史		

1. 事業の概要

事業概要	<p>< 事業の主な実施内容 > 地域の既存ストックの有効活用等を通じた総合的な整備を効率的に推進することにより、個性的で豊かな漁村の再生に資する生産基盤や生活環境施設等の整備を行うもの。</p> <p>< 国の主な採択基準 ></p> <p>・事業主体は、この事業で達成すべき目標及び達成状況を客観的に評価できる指標及び事業計画を定めた漁村再生計画を策定するものとする。 ・総事業費は100 百万円以上2,000 百万円以下など。</p>																											
	<p>< 負担区分 (%) ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>32.6</td> <td>7.4</td> <td>県営離島・漁港施設</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>37.5</td> <td>12.5</td> <td>県営本土・漁港施設</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>市営離島・漁港施設</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>17.5</td> <td>32.5</td> <td>市営本土・漁港施設</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>26.6</td> <td>13.4</td> <td>市営離島・漁場施設</td> </tr> </tbody> </table>		国	県	地元	条件	60	32.6	7.4	県営離島・漁港施設	50	37.5	12.5	県営本土・漁港施設	60	10	30	市営離島・漁港施設	50	17.5	32.5	市営本土・漁港施設	60	26.6	13.4	市営離島・漁場施設	<p>< 県費の継ぎ足し > <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>	
	国	県	地元	条件																								
	60	32.6	7.4	県営離島・漁港施設																								
50	37.5	12.5	県営本土・漁港施設																									
60	10	30	市営離島・漁港施設																									
50	17.5	32.5	市営本土・漁港施設																									
60	26.6	13.4	市営離島・漁場施設																									

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<p>国内水産物の持続的な利用と安全な水産物供給体制の整備 水産業の振興を核とした漁村の総合的な振興 資源管理型漁業・つくり育てる漁業への支援 自然環境の保全と創造 水産物流通の効率化と一貫した品質管理 安全で快適な漁業地域の形成 都市との交流の促進 生産労働効率化・近代化、担い手支援 ヨット等の寄港増による交流人口拡大</p>
---------	---

3. 令和3年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	神部地区	新上五島町
2	奈良尾漁港	新上五島町
3	土井ノ浦漁港	新上五島町
4	田助漁港	平戸市
5	古田漁港	平戸市
6	宿ノ浦漁港	新上五島町
7	初山漁港	壱岐市
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和3年度新規要求箇所評価調査(農山漁村地域整備交付金(漁村再生交付金事業))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
こまへ 神部地区	新上五島 町	町	R5	消波堤 20m	150,000	90,000	36,000	4,000	20,000	当地区では、入江内の穏やかな水域を利用し海面養殖が盛んに行われており、鳥ノ小島周辺海域においても、ぶり、まぐろ養殖が営まれている。しかし、荒天時には漁船が安定せず、海上作業や餌やり時間に要するほか、波の動揺に敏感なまぐろがパニックを起こし網に衝突し斃死する被害が発生している。また、ぶり養殖の生産量を増大したいものの、静穏度が確保された水域が不足していることから、養殖筏が増設できない状況にある。	【要望書の提出状況】 ・時期:平成30年9月 ・提出元:神部漁協代表理事組合長 ・提出先:新上五島町長 ・要望内容:消波堤整備	A
				測量及び試験費 1式	9,000	5,400	2,100	300	1,200			
				費用便益比	B/C=3.25 > 1.00		負担割合	国:県:地元=60%:26.6%:13.4%				
ならお 奈良尾漁港	新上五島 町	県	R4	内防波堤(1) 60m 内防波堤(2) 30m	400,000	240,000	117,300	13,100	29,600	当漁港は、大中型まき網漁船の準備・休けいの基地としての役割を担っており、県内有数の漁獲量を誇っている。また、当漁港は、長崎・下五島との定期航路(ジェットfoil、フェリー)が就航し、上五島地区の玄関口として、人流・物流の拠点となっており、島民生活を維持していく上で欠かせない漁港である。さらに、リゾートホテルの誘致を行う等、地域活性化に積極的に取り組んでいる。 台風来襲時には、港口から進入してくる波浪によりジェットfoil用浮桟橋が被災し、ジェットfoilが欠航するなど、島民の生活に支障を来たしていることから、防災対策が急務となっている。また、港内静穏度が確保されていないことから、他港へ避難せざるを得ない状況であり、漁業者の所得向上のためコスト削減対策が必要である。	【要望書の提出状況】 ・時期:令和2年3月 ・提出元:浜串漁協代表理事組合長 ・提出先:長崎県知事 ・要望内容:防波堤整備	A
				測量及び試験費 1式	36,000	21,600	10,400	1,336	2,664			
				費用便益比	B/C=1.70 > 1.00		負担割合	国:県:地元=60%:32.6%:7.4%				

令和3年度新規要求箇所評価調書(農山漁村地域整備交付金(漁村再生交付金事業))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
としい 土井ノ浦漁港	新上五島 町	町	R5	浮棧橋 1基	160,000	96,000	14,400	1,600	48,000	<p>当漁港は、リアス式海岸地形の好条件を生かし魚類養殖を主体とした漁業が営まれている。また、近隣漁港と陸揚機能等の漁港機能を分担したうえで、集出荷・準備・休けい、避難機能を有しており、圏域内のふりが約26%、まぐろが約38%陸揚げされており、圏域内では養殖漁業全体の約33%を占める水産物生産の拠点としての役割を担っている。さらに、荒天時における周辺漁場で操業する漁船の避難基地の役割も担っている。</p> <p>しかし、鮮魚の受入、荷揚げのほか餌飼料の作業船への積み込み等を潮位差のある岸壁で行っており、重労働であるとともに作業に時間を要している。また、漁業者の高齢化が進む中、作業中に転落するおそれがあるなど安全性が確保されていないことから、就労環境の改善が課題となっている。</p>	<p>【要望書の提出状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期:平成30年9月 ・提出元:神部漁協代表理事組合長 ・提出先:新上五島町長 ・要望内容:浮棧橋整備 	A
				測量及び試験費 1式	40,000	24,000	3,600	400	12,000			
たすけ 田助漁港	平戸市	県	R4	浮棧橋 1基	325,000	162,500	109,600	12,275	40,625	<p>当漁港は、若い後継者が多く意欲的に漁業を営んでいる。ひき網、刺し網が主要な漁業となっており、主にとびうお、いか類が陸揚されている。特に全国的なニーズが広がっている平戸市の特産物であるアゴ、ヒラメにおいて、当漁港での陸揚量は平戸市圏域内でどちらも3位となっており、平戸市の地域経済の一端を担う水産物生産の拠点漁港としての役割を担っている。</p> <p>しかし、陸揚げ、選別梱包を岸壁上の露天で行っており、直射日光や降雨等の影響を受けながらの作業を強いられることに加え、漁獲物の鮮度保持にも影響が大きく、漁獲物が輸送中に死んでしまうことが多いことから、活魚での出荷体制の構築が課題となっている。</p> <p>また、沖合漁場への操業拡大に伴い、漁船が大型化しており、既存の浮棧橋では同時係留が困難であることから、待ち時間の増加や潮位差のある岸壁での陸揚げを余儀なくされており、非効率な作業を強いられている。</p>	<p>【要望書の提出状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期:令和元年12月 ・提出元:平戸市漁協代表理事組合長 ・提出先:長崎県知事 ・要望内容:浮棧橋整備 	A
				測量及び試験費 1式	40,000	20,000	13,500	1,500	5,000			

令和3年度新規要求箇所評価調書(農山漁村地域整備交付金(漁村再生交付金事業))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
古田漁港	平戸市	市	R4	突堤 40m 突堤 40m 防波堤(改良) 70m	200,000	100,000	31,500	3,500	65,000	当漁港は、定置網や刺し網漁業が主要な漁業となっており、平戸市西海岸は潮流にも恵まれていることから、屈指の好漁場となっている。いか、ぶりなどが主な漁獲物であり、これらを一時蓄養し、活魚での出荷による所得向上対策や国の補助事業を活用した漁船の機関換装を行うなど、生産性の向上や省コスト化へ向けた取組みを行う意欲が高いとともに、平戸島南西部における漁船避難基地としての役割も担っている。 しかし、冬季季節風による波浪の反射波や強風により、動揺が大きい中での係留や準備作業を強いられ、海中転落事故等の危険な就労環境となっている。また、強風に伴って発生する動揺により、隣接する漁船同士の接触事故等の損傷被害が発生している。	【要望書の提出状況】 ・時期:令和2年1月 ・提出元:平戸市漁協代表理事組合長 ・提出先:平戸市長 ・要望内容:突堤整備 等	A
				測量及び試験費 1式	100,000	50,000	15,700	1,800	32,500			
宿ノ浦漁港	新上五島町	町	R6	-2m物揚場 60m -2m泊地 2,000㎡ 用地 1,000㎡	250,000	150,000	22,500	2,500	75,000	当漁港は、真珠母貝(稚貝)養殖を営む築地地区と一本釣りを営む宿ノ浦地区があり、水産物生産の拠点としての役割を担っている。また、築地地区は、県内で有数の真珠母貝(稚貝)供給基地であり、長崎県真珠養殖漁協における真珠母貝の約1割を担うとともに、三重県など県外にも出荷している。近年、真珠母貝のへい死が発生しているなか、当地区では安定供給を行っている。 しかし、養殖カゴなど保管・補修用地がないため、不安定な海上の養殖作業用イカゲで非効率な作業をしており、作業中に転落するおそれがあるなど安全性も確保されていないことから、就労環境の改善及び水産物の生産コストの削減が課題となっている。また、真珠母貝(稚貝)の運搬等を人力で行うなど陸揚作業が重労働かつ非効率となっている。	【要望書の提出状況】 ・時期:平成28年12月 ・提出元:若松町中央漁協代表理事組合長 ・提出先:新上五島町長 ・要望内容:用地整備 等	A
				測量及び試験費 1式	30,000	18,000	2,700	300	9,000			

令和3年度新規要求箇所評価調書(農山漁村地域整備交付金(漁村再生交付金事業))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
ほつやま 初山漁港	沓崎市	市	R8	西突堤 58m 東突堤 30m -3m岸壁取付(改良) 28m -2m物揚場(改良) 120m	494,000	296,400	44,400	5,000	148,200	<p>当漁港は、はえ縄、いか釣りなどを主体とした漁業形態で主にぶりやいか等を漁獲しており、沿岸漁業の拠点として、沓崎南地域の経済を支える重要な役割を担っている。また、ブランド化を視野に入れた岩牡蠣養殖や、新規就業者研修にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>しかし、干満差が2.5mあり、係船・準備作業が重労働で時間を要しており、作業中に転落するおそれがあるなど安全性が確保されていないことから、就労環境の改善が課題となっている。また、開港方向である南側からの風を受けやすく、漁船の動揺など準備・係留作業時の安全性が確保されていないことから、作業に支障をきたしている現状がある。</p>	<p>【要望書の提出状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期:令和2年3月 ・提出元:郷ノ浦町漁協代表理事組合長 初瀬船主会会長 ・提出先:沓崎市長 ・要望内容:防風柵設置 等 	A
				測量及び試験費 1式	48,000	28,800	4,300	500	14,400			
合計					1,979,000	1,134,900	375,700	41,975	426,425	費用便益比 B/C=1.64 > 1.00	負担割合 国:県:地元 = 60%:10%:30%	
					303,000	167,800	52,300	6,136	76,764			

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

< 様式 1 >

評価対象事業名	農山漁村地域整備交付金(海岸高潮対策事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	2	力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す
	施策	3	環境変化に対応し、一次産業を活性化する
	事業群	(2)	漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備 生産・流通基盤の強化と漁村の賑わい創出に向けた浜の環境整備

作成年月日	令和 2 年 11 月 25 日		
事業所管	水産 部	漁港漁場 課	
	漁港計画・漁場整備班 (内線)		2857
課(室)長名	橋本 康史		

1. 事業の概要

事業概要	< 事業の主な実施内容 > 国民経済上、及び民生の安定上重要な地域を高潮、波浪による被害から守るため、海岸保全施設の改良を行う。																						
	< 国の主な採択基準 > ・防護面積・防護人口が1km当たり、5ha以上または50人以上。 ・総事業費が本土1億円以上、離島においては5千万円以上。																						
	< 負担区分(%) >																						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55</td> <td>14</td> <td>31</td> <td>市町営離島</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				国	県	地元	条件	55	14	31	市町営離島											
国	県	地元	条件																				
55	14	31	市町営離島																				

< 県費の継ぎ足し >
 有 無

3. 令和3年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	増田漁港海岸	五島市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	背後住民の同意・理解が得られていること 最低限の費用対効果が見込めること 安全で快適な漁業地域の形成
---------	--

令和3年度新規要求箇所評価調書(農山漁村地域整備交付金(海岸高潮対策事業))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価	
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
増田漁港海岸	五島市	市	R5	護岸(改良) 70m	60,000	33,000	7,500	900	18,600	当漁港海岸は、福江島南東部に位置し、背後の 人家や主要道路を防護する役割を担っている。 しかし、台風等の荒天時に越波による被害を受け ており、近年の海象条件における施設の必要天端 高さが基準を満たしていないことが判明したことか ら、対策を講じる必要がある。	【要望書の提出状況】 ・時期:平成29年5月 ・提出元:増田町内会長 ・提出先:五島市長 ・要望内容:海岸高潮対策	A	
				測量及び試験費 1式	10,000	5,500	1,200	200	3,100				
合計					60,000	33,000	7,500	900	18,600	費用便益比	B/C=1.96 > 1.00	負担割合	国:県:地元 = 55%:14%:31%
					10,000	5,500	1,200	200	3,100				